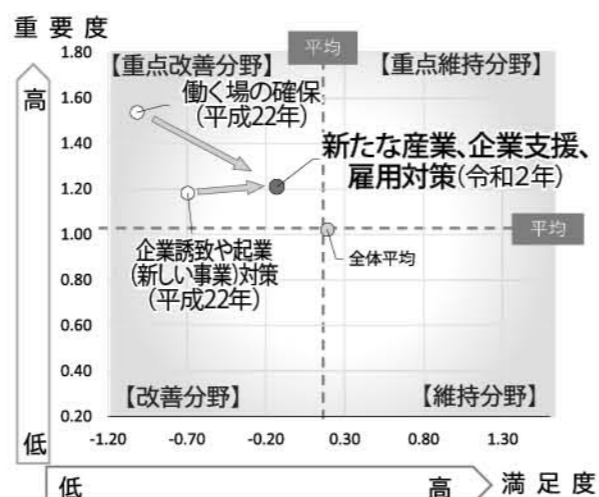


10年前と比較し満足度が上がった上位3分野

満足度が上がった上位3分野は、「新たな産業、企業支援、雇用対策」「子育て支援」「農業の振興」となっています。

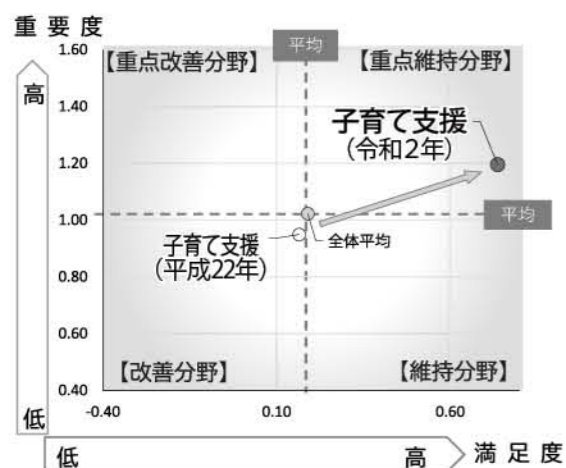
新たな産業・企業支援・雇用対策

「新たな産業、企業支援、雇用対策」(グラフ4)については、大型農業法人の設立による雇用の確保などにより、満足度が高まったと考えられます。



▲グラフ4: 満足度の変化(新たな産業・企業支援・雇用対策)

子育て支援



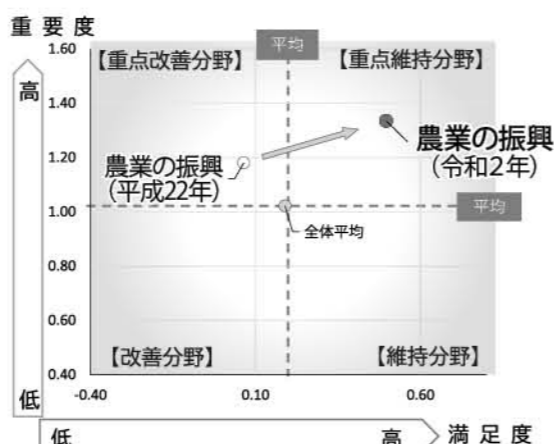
▲グラフ5: 満足度の変化(子育て支援)

「子育て支援」(グラフ5)については、ふるさと納税を活用した子育て支援の取り組みなどにより、満足度が高まったと考えられます。



農業の振興

「農業の振興」(グラフ6)については、農業産出額の上昇などにより、満足度が高まったと考えられます。



▲グラフ6: 満足度の変化(農業の振興)

まちづくり 住民アンケート 結果報告

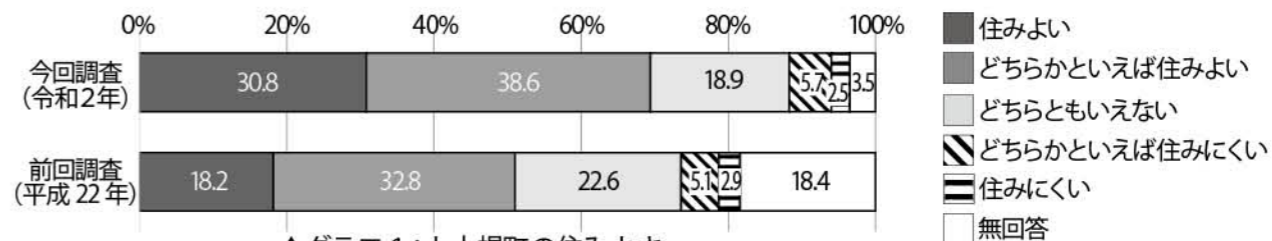
新しいまちづくりの計画 第⑥期上士幌町総合計画 の策定作業を進めています!

町では、令和4年度からスタートする10年間のまちづくり計画である、「第6期上士幌町総合計画」の策定作業を進めています。今回は、住民の皆さまにご協力いただきました「まちづくり住民アンケート」の結果について、お知らせいたします。このアンケート結果は、計画策定の参考として活用させていただきます。

- ◆対象 上士幌町の全世帯
- ◆調査方法 郵送・ウェブアンケート
- ◆回収状況 配布数2,603票、回収数1,000票
回収率38.4%(前回19.6%)

問1 上士幌町の住みよさ

町の住みよさは、10年前(平成22年)の調査より約18ポイント増加し、高い評価となっています。



▲グラフ1: 上士幌町の住みよさ

問2 上士幌町の暮らしの満足度と重要度を評価してください

「上水道」「子育て支援」「保健」への満足度が高い一方で、「医療」「高齢者福祉、高齢社会への対策」「保健」の重要度が高くなっています。



▲グラフ2: 満足度の高い上位3分野



▲グラフ3: 重要度の高い上位3分野

次のページから、この10年間で町民の皆さまの評価がどのように変わったか、10年前と現在の満足度と重要度の比較を行っています。

問3 上土幌町への定住意向

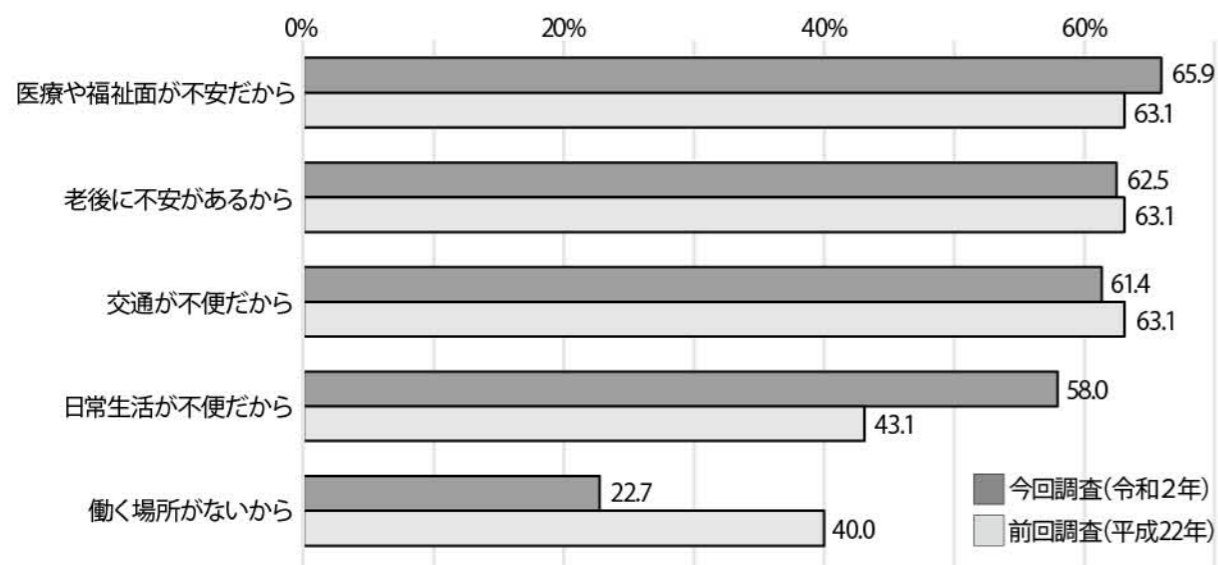
本町への定住意向については、前回より約6ポイント増加しています。転出意向は7ポイント減少し、町に住み続けたい人は増加しています。



▲グラフ10:上土幌町への定住意向

【町外に移りたい理由】

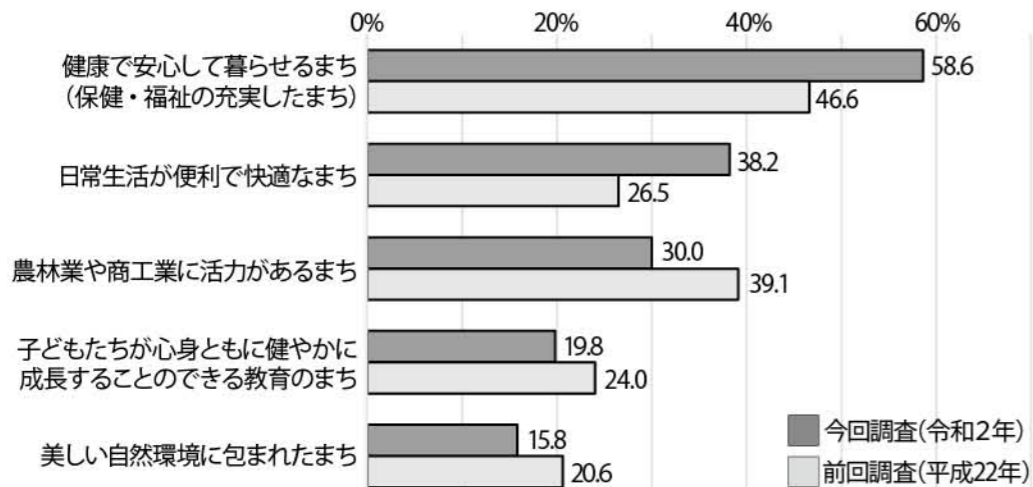
「医療や福祉面が不安だから」「老後に不安があるから」「交通が不便だから」の理由が、前回同様に高くなっています。一方、「日常生活が不便だから」が増加し、「働く場所がないから」は減少しています。



▲グラフ11:町外に移りたい理由

問4 上土幌町の将来像について

福祉的な要素と、日常生活の利便性を重視する割合が10年前に比べて増加しています。



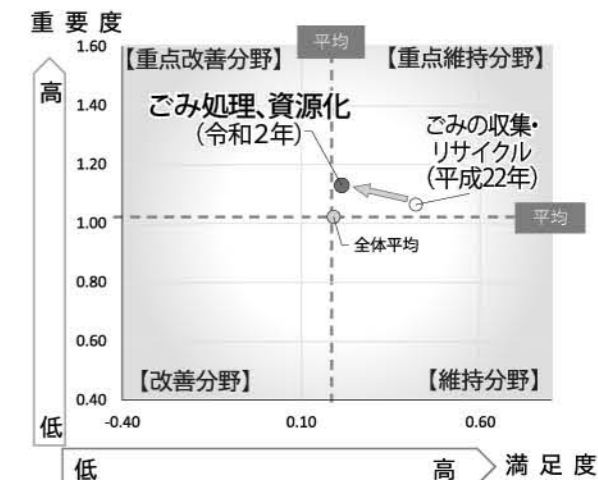
▲グラフ12:上土幌町の将来像について

10年前と比較し満足度が下がった上位3分野

満足度が下がった上位3分野は、「ごみ処理、資源化」「商工業の振興」「消防、救急」となっています。

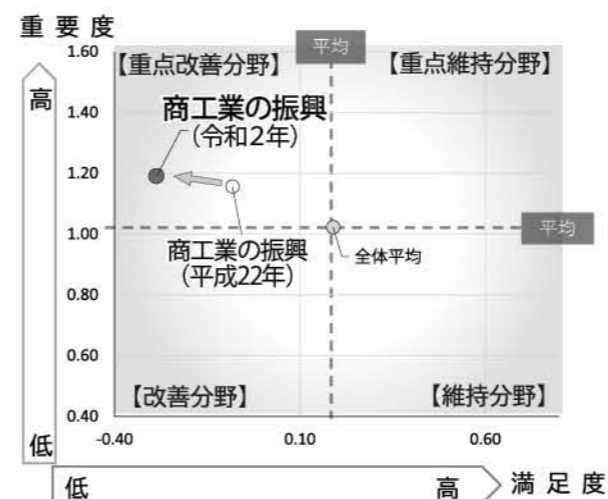
ごみ処理、資源化

「ごみ処理、資源化」(グラフ7)については、ごみの分別方法や収集回数等に改善の声があるため、満足度が低かったと考えられます。



▲グラフ7:満足度の変化(ごみ処理、資源化)

商工業の振興



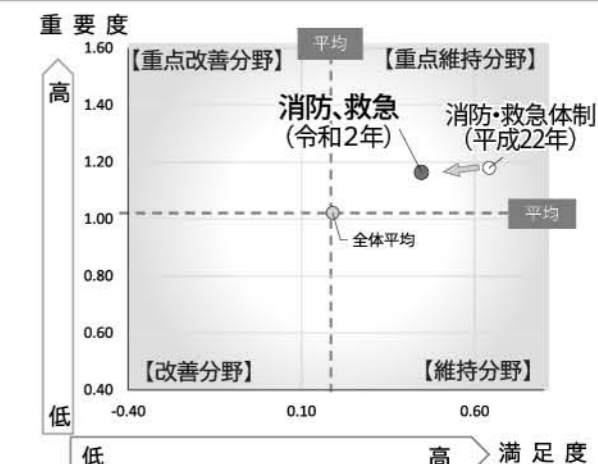
▲グラフ8:満足度の変化(商工業の振興)

「商工業の振興」(グラフ8)については、商店の減少や品揃えの少なさなど買い物の不便などの声があるため、満足度が低かったと考えられます。



消防、救急

「消防、救急」(グラフ9)については、前回より60代以上の回答者の占める割合が多いことから、救急に対する不安が高まった可能性があるため、満足度が低かったと考えられます。

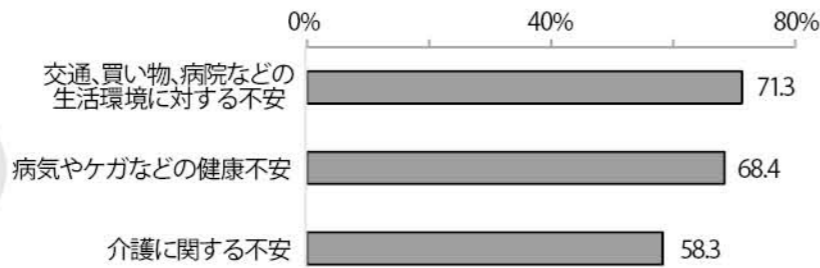


▲グラフ9:満足度の変化(消防、救急)

問9 老後の暮らしの不安

「交通、買い物、病院などの生活環境に対する不安」が最も高く、次いで「病気やケガなどの健康不安」、「介護に関する不安」と高くなっています。

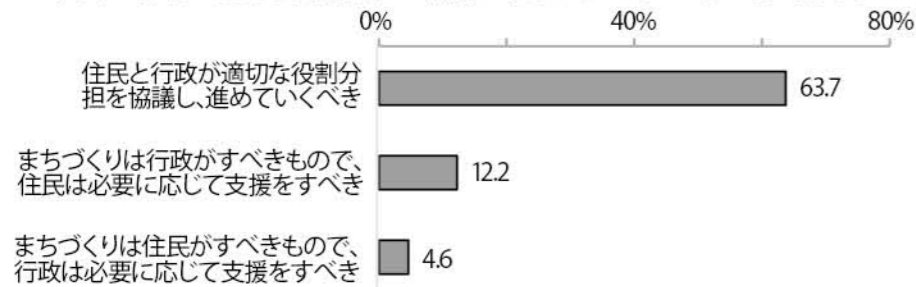
年齢別では、「病気やケガなどの健康不安」と「介護に関する不安」は、若年層ほど割合は低く、高齢になるほど高くなる傾向となっています。



▲グラフ17:老後の暮らしの不安

問10 まちづくりにおける行政と住民の役割分担

「住民と行政が適切な役割分担を協議し、進めていくべき」が最も高くなっています。



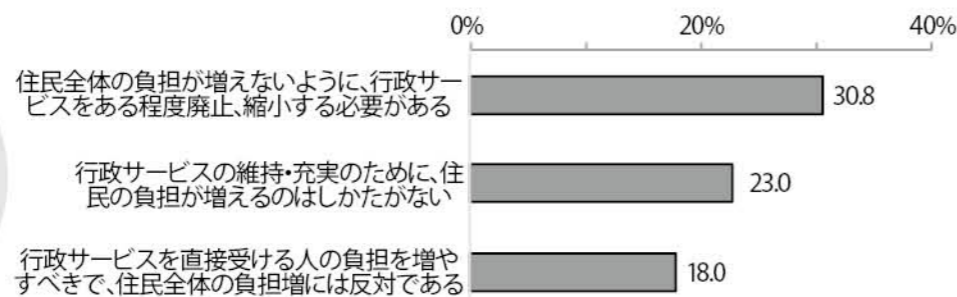
▲グラフ18:まちづくりにおける行政と住民の役割分担

職業別では、すべての職種において「住民と行政が適切な役割分担を協議し、進めていくべき」と選択しています。

問11 行政サービスと住民負担のあり方

「住民全体の負担が増えないように、行政サービスをある程度廃止、縮小する必要がある」が最も高くなっています。

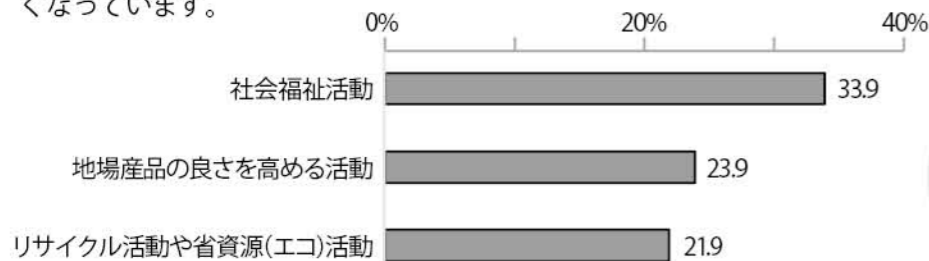
年齢別では、「住民全体の負担が増えないように、行政サービスをある程度廃止、縮小する必要がある」は、「29歳以下」の割合が低く、「40代」の割合が高くなっています。



▲グラフ19:行政サービスと住民負担のあり方

問12 参加したいまちづくり活動

「社会福祉活動」が最も高く、次いで「地場産品の良さを高める活動」、「リサイクル活動や省資源(エコ)活動」が高くなっています。



▲グラフ20:参加したいまちづくり活動

ぬかびら源泉郷、幌加、三股地域では、「観光案内活動」「自然保護活動」等が高くなるなど、他地域とは異なる傾向がみられました。

今後のまちづくりのアイデアやご提案などたくさんの意見が寄せられました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。今後の計画策定の大事なご意見として、活用させていただきます。なお、詳しいアンケート結果につきましては、町ホームページにて公開しております。

アンケート結果詳細ページQRコード▶

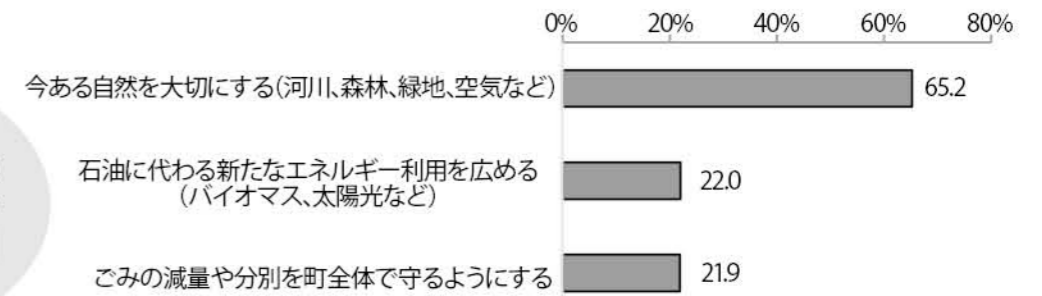


※お問い合わせは、企画財政課企画担当(☎2-4290)まで

問5 環境保全対策

「今ある自然を大切にする」が最も高く、次いで「石油に代わる新たなエネルギー利用を広める」、「ごみの減量や分別をまち全体で守るようにする」が高くなっています。

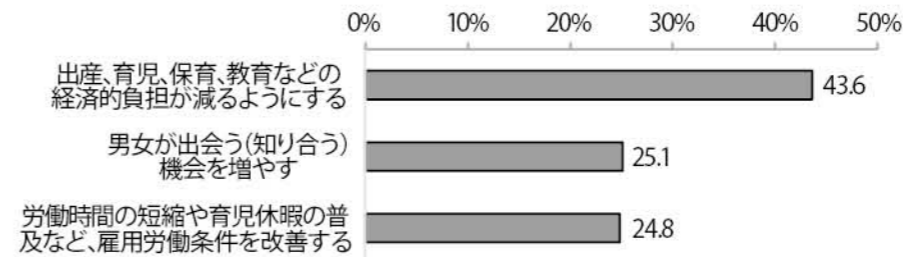
年齢別では「若年層」が、地域別では「ぬかびら源泉郷、幌加、三股」が「今ある自然を大切にする」を重視しています。



▲グラフ13:環境保全対策

問6 少子化対策

「出産、育児、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」が最も高く、次いで「男女が出会う(知り合う)機会を増やす」、「労働時間の短縮や育児休暇の普及など、雇用労働条件を改善する」が高くなっています。



▲グラフ14:少子化対策

年齢別では「30~40代」が、地域別では「ぬかびら源泉郷、幌加、三股」が「出産、育児、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」をより選択しています。

問7 観光振興対策

「今ある観光資源の魅力を高める」が最も高く、次いで「地場産品を用いた特産品を増やす」、「温泉自然をテーマとした観光を進める」が高くなっています。

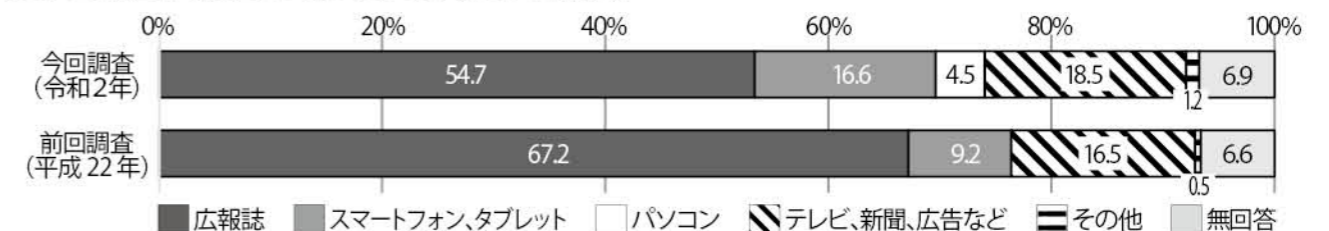
居住地別では、「市街地」が「今ある観光資源の魅力を高める」を重視しています。



▲グラフ15:観光振興対策

問8 町の情報の入手経路

紙媒体である「広報誌」の利用が12.5ポイント低くなっており、一方で、「スマートフォン、タブレット」と「パソコン」の利用が11.9ポイント高くなっています。ICTの利用者の増加とともに、利用したい媒体はICTを利用したものを希望するようになってきているといえます。



▲グラフ16:町の情報の入手経路